

三好大助

すべて

今 この詩を書いている私の右手
その指先を 静かに造形する原子たち
それはかつて 始まりの海をたゆたう 海月の足だったのかもしれない

今 この詩を見つめるあなたの左眼
その瞳に つやつやとひしめき合う原子たち
それはかつて この世界を見渡した コンドルの翼だったのかもしれない

ならば 私の呼吸を支えるこの肺は
いづれ その木陰でいのちを育む 檜の木にもなろう

ならば あなたの今を打ち鳴らすその心臓は
いづれ だれかの今を奪う 猛獣の牙にもなろう

すべてと溶け合う わたしたち
すべてを旅する わたしたち